

平成22年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について」

< 藤沢市の状況 >

1. 暴力行為の状況 (H21・H22)

小学校	平成21年度	
	校数	件数
対教師暴力	0	0
生徒間暴力	1	1
対人暴力	0	0
器物損壊	0	0
備考	計1件	

平成22年度	
校数	件数
0	0
0	0
0	0
1	1
計1件	

中学校	平成21年度	
	校数	件数
対教師暴力	8	24
生徒間暴力	17	48
対人暴力	3	12
器物損壊	13	98
備考	計182件	

平成22年度	
校数	件数
8	36
13	117
1	5
9	48
計206件	

1,000人 あたり 6.2件

< 傾向 >

- ・中学校では前年比で24件の増加である。内訳をみると特定の学校において集中して発生している。一部あるいは特定のグループがくり返し行為を起こす傾向がある。また、インターネットを介しての人間関係の広域化に伴い、学校間でのトラブルも大規模なものとなる傾向がみられる。

※暴力行為の原因としては背景に発達障がい、家庭環境、学校と保護者との連携が困難である、等があげられる。

< 対応 >

- ・暴力・いじめ・不登校等の諸問題への対応マニュアル（児童・生徒指導の手引き）を作成し、全職員へ配付して職員の指導力向上を図っている。
- ・児童生徒指導担当者会を通して人権の尊重を啓発する教育活動の推進を図っている。
- ・市内の全小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、相談・支援活動の充実に努めている。
- ・解決が困難な課題を抱える学校に対し、警察・児相・民生委員・市教委等が具体的手だてについて協議し、必要な人材を派遣するなど、チームとして学校を支援する取り組みを行っている。
- ・子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図るために、グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニング等を取り入れる学校が増えている。

2. いじめの状況 (H21・H22)

《平成21年度》

	認知件数	解消	一定の解消	取組中	転学等
小学校	15	10	1	3	1
中学校	105	77	18	10	0
計	120	87	19	13	1

「学校で把握したいじめの態様別件数」 (複数回答)

《小学校》 冷やかし・からかい・悪口・脅し文句 9件
 仲間はずれ・集団による無視 3件
 軽い暴力 3件
 いやなことをされる・させられる 2件

《中学校》 冷やかし・からかい・悪口・脅し文句 82件
 仲間はずれ・集団による無視 25件
 軽い暴力 14件
 パソコンや携帯電話による誹謗中傷 7件
 ひどい暴力 6件
 いやなことをされる・させられる 3件
 金品を隠す・盗む・壊す・捨てる 3件
 金品をたかる 1件

《平成22年度》

	認知件数	解消	一定の解消	取組中	転学等	1,000人あたり 2.9件
小学校	20	15	5	0	0	
中学校	77	53	19	4	1	
計	97	68	24	4	1	

「学校で把握したいじめの態様別件数」 (複数回答)

《小学校》 冷やかし・からかい・悪口・脅し文句 13件
 仲間はずれ・集団による無視 10件
 軽い暴力 7件
 いやなことをされる・させられる 1件

《中学校》 冷やかし・からかい・悪口・脅し文句 53件
 軽い暴力 18件
 仲間はずれ・集団による無視 13件
 金品を隠す・盗む・壊す・捨てる 12件
 パソコンや携帯電話による誹謗中傷 7件
 いやなことをされる・させられる 5件
 ひどい暴力 4件
 金品をたかる 4件
 その他 4件

<傾向>

- ・小学校では前年比で微増であるが、内容的には「冷やかし、からかい」が主であり、職員の指導により一定の解決が図られている。認知件数の増加はいじめに対する職員の意識の高まりと捉えている。
- ・中学校では前年比で認知件数が減少している。各校において、いじめ防止プログラムやアンケートの実施など、未然防止に向けた具体的な取り組みが実践されていることにより、いじめに対する生徒の意識が高まった結果の表れと考えられる。

<対応>

- ・市内全校の児童生徒を対象とした実態調査（アンケート調査）を実施している。
- ・児童会、生徒会活動を活用しての自治的活動の推進を図っている。
- ・いじめ防止プログラム活用の推進を図っている。
- ・優れた実践事例を担当者会などで発表報告し、全校へ発信を行っている。
- ・2010年10月には教育長によるいじめに関する緊急アピール「いじめを許さず、尊い命を守るために」を市立全小・中・特別支援学校児童生徒に配付し、いじめに対する啓発を図った。
- ・前述の児童生徒指導の手引きを活用しての対応と、未然防止に向けて ①規範を意識した学級・学年経営 ②子ども同士の望ましい人間関係づくり ③教師と生徒の信頼関係づくりを各校へ依頼した。

※携帯電話の所持率がさらに高まっていることを考えると、インターネットを介してのいじめについては、十分な注意が必要である。情報モラル教育の一層の推進を図る必要がある。

3. 不登校の状況 (H21・H22)

《平成21年度》

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	3		7		2		8		19		26		65	
	2	1	4	3	1	1	2	6	14	5	11	15	34	31
中学校	62		130		139								331	
	35	27	81	49	65	74							181	150

計 396 人

《小学校》

○不登校となったきっかけ (複数回答)

- 本人に関わる問題 … 24人
- 親子関係の問題 … 24人
- いじめを除く友人関係をめぐる問題 … 12人
- 家庭の生活環境の急激な変化 … 12人

○効果のあった学校の対応 (複数回答)

- スクールカウンセラー、相談員の対応 … 14人
- 教師との関係改善 … 12人
- 保護者の協力 … 11人
- 意欲をもって活動できる場面を提供 … 10人

○不登校児童生徒への指導結果状況

- ・指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒 … 23人
- ・指導中であり、継続した登校には至らないものの
好ましい変化が見られるようになった児童生徒 … 13人
- ・指導中であるが、大きな変化は見られない児童生徒 … 29人

《中学校》

○不登校となったきっかけ (複数回答)

- 本人に関わる問題 … 139人
- 親子関係の問題 … 83人
- いじめを除く友人関係をめぐる問題 … 69人
- 病気による欠席 … 33人
- 家庭の生活環境の急激な変化 … 31人
- 学業の不振 … 28人
- 不明 … 27人

○効果のあった学校の対応 (複数回答)

- 電話、家庭訪問 … 56人
- スクールカウンセラー、相談員の対応 … 54人
- 学業や生活面での指導・援助 … 50人
- 保護者の協力 … 43人
- 保健室等の別室登校 … 28人
- 教師との関係改善 … 27人
- その他 … 18人

○不登校児童生徒への指導結果状況

- ・指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒 … 132人
- ・指導中であり、継続した登校には至らないものの
好ましい変化が見られるようになった児童生徒 … 69人
- ・指導中であるが、大きな変化は見られない児童生徒 … 130人

《平成22年度》

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	2		7		5		7		15		25		61	
	1	1	6	1	2	3	3	4	7	8	15	10	34	27
中学校	71		125		172								368	
	40	31	77	48	108	64							225	143

計 429人

《小学校》

○不登校となったきっかけ（複数回答）

- 親子関係をめぐる問題 … 19人
- 不安など情緒的混乱 … 18人
- 病気による欠席 … 14人
- 無気力 … 10人
- 家庭の生活環境の急激な変化 … 8人

1,000人あたり

13件

○効果のあった学校の対応（複数回答）

- 登校刺激（電話や迎え）を与えた … 14人
- スクールカウンセラー、相談員の対応 … 7人
- 教師との関係改善 … 6人
- 学業や生活面での指導・援助 … 5人
- 保護者の協力 … 5人

○不登校児童生徒への指導結果状況

- ・指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒 … 18人
- ・指導中であり、継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒 … 11人
- ・指導中であるが、大きな変化は見られない児童生徒 … 32人

《中学校》

○不登校となったきっかけ（複数回答）

- 無気力 … 101人
- いじめを除く友人関係をめぐる問題 … 95人
- 親子関係をめぐる問題 … 69人
- 不安など情緒的混乱 … 65人
- 学業の不振 … 44人
- あそび・非行 … 42人

○効果のあった学校の対応（複数回答）

- スクールカウンセラー、相談員の対応 … 16人
- 学業や生活面での指導・援助 … 15人
- 保健室等の別室登校 … 13人
- 登校刺激（電話や迎え）を与えた … 10人
- 教師との関係改善 … 9人
- 友人関係の改善 … 9人

○不登校児童生徒への指導結果状況

- ・指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒 … 156人
- ・指導中であり、継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒 … 56人
- ・指導中であるが、大きな変化は見られない児童生徒 … 156人

<傾向>

- ・小学校では各学年で新たに不登校となる児童数に大きな変化は見られなかったが、昨年にひき続き小学校2年生での不登校が1年生に比べ増えている。
- ・中学校では1年生の不登校数は前年度並みであったが、2・3年生で新たに不登校になった生徒の数が増えている。中学生活への慣れからの意欲低下、学習への不適應、人間関係の固定化等により、上級学年で不登校者数が大幅に増加している。

※不登校の原因としては、人間関係をうまく構築できない児童生徒の増加、基本的な生活習慣が身につけていない児童生徒の増加、親子関係の問題、「学校に無理に行かせることはない」といった保護者の意識の変化等が考えられる。

<対応>

- ・欠席理由が明らかでない児童生徒について、月3日程度の欠席があった段階で欠席理由を探る関わりを委員会として持ち、原因の把握と問題の解決等、早期発見、早期対応に向けて学校との連携を図っている。
- ・スクールカウンセラーの活用推進や相談支援教室との連携等、相談体制の充実を図っている。
- ・夏休み前、休業中、夏休み明けのそれぞれについての対応、取り組みを各校に依頼し、その結果や様子についての報告を義務づけている。

※各学校においては、日常的に、欠席が続く児童生徒、登校渋りが見られる児童生徒等に対する早期段階での家庭への連絡や家庭訪問を実施している。また、長期休業中も不登校傾向にある児童生徒や気になる児童生徒に対する家庭訪問を実施するなど、休業明けの学校生活へスムーズに適應できるよう取り組んでいる。登校刺激を与える、スクールカウンセラーとの連携を図る等に効果が見られることから、未然防止や学校復帰に向けて早期対応を進めている。

地域別の状況について

公立小・中学校における「暴力行為の発生件数」「いじめの認知件数」「不登校児童・生徒数」について、地域別の状況をお知らせします。県内における地域別の状況をまとめることにより、地域全体で子どもの健全育成を推進していきたいと考えています。

1 暴力行為の発生件数〔地域別〕（中等教育学校を除く）

	平成22年度				平成21年度				平成22、21年度比較			
	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり
横浜市	771	2,174	2,945	10.9	693	2,755	3,448	12.8	78	▲ 581	▲ 503	▲ 1.9
川崎市	111	602	713	7.3	92	832	924	9.5	19	▲ 230	▲ 211	▲ 2.2
相模原市	89	543	632	11.3	174	660	834	14.7	▲ 85	▲ 117	▲ 202	▲ 3.4
横須賀市	34	190	224	6.9	62	236	298	9.2	▲ 28	▲ 46	▲ 74	▲ 2.2
湘南三浦	21	401	422	5.5	24	377	401	5.2	▲ 3	24	21	0.2
県央	133	619	752	11.0	204	837	1,041	15.1	▲ 71	▲ 218	▲ 289	▲ 4.1
中	55	411	466	9.9	38	524	562	11.9	17	▲ 113	▲ 96	▲ 2.0
足柄上	0	45	45	4.6	10	206	216	21.8	▲ 10	▲ 161	▲ 171	▲ 17.2
足柄下	8	184	192	10.2	2	272	274	14.2	6	▲ 88	▲ 82	▲ 4.1
神奈川県	1,222	5,169	6,391	9.4	1,299	6,699	7,998	11.8	▲ 77	▲ 1,530	▲ 1,607	▲ 2.4

2 いじめの認知件数〔地域別〕（中等教育学校を除く）

	平成22年度				平成21年度				平成22、21年度比較			
	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり
横浜市	1,199	901	2,100	7.8	511	656	1,167	4.3	688	245	933	3.5
川崎市	161	281	442	4.5	54	290	344	3.6	107	▲ 9	98	1.0
相模原市	83	186	269	4.8	110	213	323	5.7	▲ 27	▲ 27	▲ 54	▲ 0.9
横須賀市	103	89	192	6.0	123	124	247	7.6	▲ 20	▲ 35	▲ 55	▲ 1.6
湘南三浦	125	365	490	6.4	124	339	463	6.0	1	26	27	0.3
県央	179	243	422	6.2	171	292	463	6.7	8	▲ 49	▲ 41	▲ 0.6
中	100	178	278	5.9	56	216	272	5.7	44	▲ 38	6	0.2
足柄上	16	27	43	4.4	14	71	85	8.6	2	▲ 44	▲ 42	▲ 4.2
足柄下	32	87	119	6.3	35	53	88	4.6	▲ 3	34	31	1.7
神奈川県	1,998	2,357	4,355	6.4	1,198	2,254	3,452	5.1	800	103	903	1.3

3 不登校児童・生徒数〔地域別〕（中等教育学校を除く）

	平成22年度				平成21年度				平成22、21年度比較			
	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人	小学校	中学校	小中合計	1,000人あたり
横浜市	1,099	2,716	3,815	14.2	1,066	2,796	3,862	14.3	33	▲ 80	▲ 47	▲ 0.2
川崎市	213	1,140	1,353	13.9	174	1,091	1,265	13.1	39	49	88	0.8
相模原市	174	802	976	17.4	181	864	1,045	18.4	▲ 7	▲ 62	▲ 69	▲ 1.0
横須賀市	119	493	612	19.0	113	487	600	18.5	6	6	12	0.5
湘南三浦	182	744	926	12.0	157	733	890	11.6	25	11	36	0.4
県央	214	783	997	14.6	220	799	1,019	14.8	▲ 6	▲ 16	▲ 22	▲ 0.2
中	138	524	662	14.0	124	525	649	13.7	14	▲ 1	13	0.4
足柄上	30	110	140	14.3	33	111	144	14.5	▲ 3	▲ 1	▲ 4	▲ 0.2
足柄下	77	237	314	16.6	78	264	342	17.8	▲ 1	▲ 27	▲ 28	▲ 1.2
神奈川県	2,246	7,549	9,795	14.5	2,146	7,670	9,816	14.5	100	▲ 121	▲ 21	▲ 0.0

湘南三浦教育事務所 管内	鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、葉山町、寒川町
県央教育事務所 管内	厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村
中教育事務所 管内	平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町
足柄上教育事務所 管内	南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町
足柄下教育事務所 管内	小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町